

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 72 号

若年女性のアルコール摂取とヘモグロビン A1c との関係性

(Relationship between alcohol intake and hemoglobin A1 c levels in young women)

宮内 眞紀 (みやうち まき)

博士 (スポーツ健康科学)

論文審査結果の要旨

【研究目的の特徴・独創性・論理性】

本研究は、銚子市若年女性の栄養素等および食品群別摂取と HbA1c 値との関係、とりわけ、アルコール摂取と HbA1c 値との関係を検討することを目的とした横断研究である。習慣的な摂取量を妥当性の確認された簡易型自記式食事歴法質問票 (BDHQ) を用いて評価し、121 種におよぶ栄養素等および食品群の関係を検討したところに特徴がある。日本人を対象に妥当性の得られた方法で食事調査を行い HbA1c との関連を検討した研究はなく、独創性と論理性のある研究である。

【研究方法の妥当性】

本研究では、被験者からの同意の取得、データの取得、解析対象の選択は妥当な方法で行われている。特に、栄養素等および食品群別摂取量の推定には、妥当性の確認された簡易型自記式食事歴法質問票 (BDHQ) を使用し、対象者の除外基準も明確である。また、データを分布に応じて、2 変数の関係を Spearman の相関係数、傾向性を Shirly-Williams test により評価した解析方法も妥当である。

【結果・知見の新しさ】

本研究では、日本人若年女性の適度なアルコール摂取が糖尿病リスクを下げる可能性を明らかにした。これまで日本人中年女性での血糖値と飲酒量が負の相関を示したものはあったが、日本人若年女性でも同様の結果が得られたところが新たな知見である。

【考察および結論の妥当性】

本研究では、得られた結果と先行研究から無理のない考察がなされ、限界も明確に示しながら、妥当な結論が導き出されている。

【研究の当該分野における位置づけ】

本研究は、日本人若年女性の適度なアルコール摂取が糖尿病リスクを下げる可能性を明らかにしたもので、スポーツ健康科学分野において非常に意義のある研究といえる。将来的には、日本人の糖尿病予防に寄与すると期待される。

【質疑に対する応答の適切性】

質疑には、おおむね適切で論理性のある応答ができていた。

【論文審査の結果】

当該論文は、申請者が修士課程から取り組んできた銚子市若年女性の HbA1c 値に注目した研究テーマを発展させたもので、銚子市若年女性の HbA1c 値と食事摂取との関連を研究した結果、日本人若年女性の適度なアルコール摂取が糖尿病リスクを下げる可能性を見出したものである。申請者は銚子市若年女性の HbA1c をテーマに、これまでに 2 本の原著論文を発表しており、当該論文は、投稿中であるが 1 回目の査読を受け、掲載の方向で修正の指示が出されている。論文内容の独創性に加え質疑応答の適切性など、上記を総合し、博士（スポーツ健康科学）を修得するに十分な資質と能力をもつと判断し、論文審査の結果を合格とした。